

ウェアラブルターミナルを使った

車体組み付け計測での活用術

計測作業でお困りはありませんか？



接続ケーブルが作業の邪魔になるため、計測作業に集中できない。



両手が自由に使える ハンズフリーソリューション

WIT-SERIES

二次元ウェアラブルターミナル
WIT-220-N

HF帯RFIDウェアラブルターミナル
WIT-250-N



手書きによる計測記録が面倒。記入ミスも発生。



ウェアラブルターミナルを導入すると

- 計測器とホスト端末をつなぐケーブルが断線する心配がありません。
- ホスト端末から離れた場所で読み取りができ、大型部品や多点箇所の計測に便利です。
- 手元で計測内容の確認ができ、作業の邪魔になりません。
- Wi-Fiを使ってリアルタイムにデータ送信が可能です。

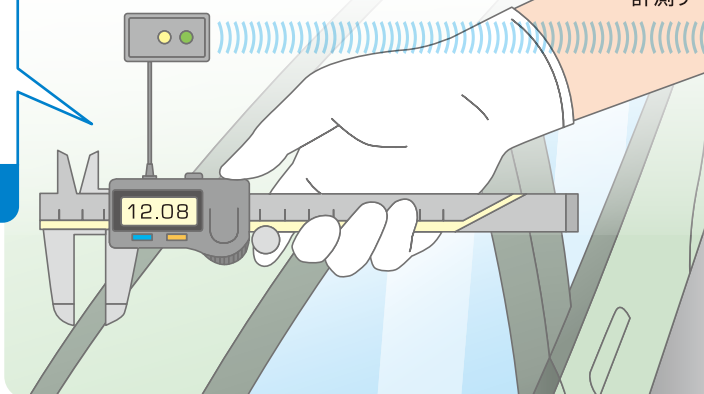
指示書(バーコード)を読み、基準データと照合。基準外はブザーで警告。



移動しながらの測定作業でも測定データの記録や照合ができる。

作業性が良い

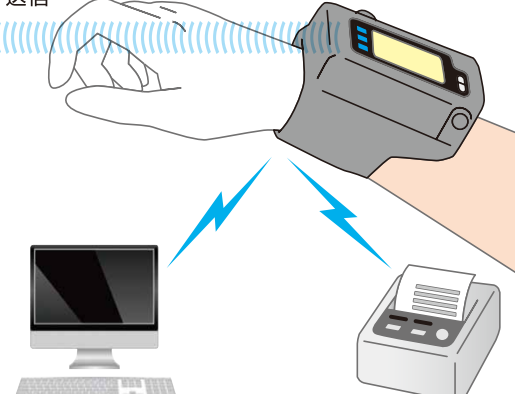
Bluetoothアダプタ



デジタルノギスで車体組み付け計測

ワイヤレスで計測データ送信

ウェアラブルターミナル



ホスト端末でデータ収集

モバイルプリンタとの連携